

専門研修「発達障害支援（演習）」

【第1回】	【実施日】	11月1日（金）、28日（木）
	【受講決定者数】	55名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の保育の中で、方法や支援について困っていた部分をどのように理解して、どのように返してみるかについてのヒントをたくさん頂きました。 ・すぐに現場で使えそうな内容を学ぶことができ、得たものが大きかったです。ロールプレイを見る、実践するという形で学べたことも、より理解が深まりました。 ・今回学んだペアトレの理論をしっかり理解することで、支援に根拠を持って行うことができると思いました。 ・支援する際にかける言葉や方法に悩んでいたのが気持ちが楽になりました。
【第2回】	【実施日】	1月9日（木）、30日（木）
	【受講決定者数】	55名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・行動を3つのグループに分け書き出すことで、その子の行動を冷静に客観的に見ることができると知りました。 ・前に出てロールプレイをすることで具体的に考えたり、講師の先生とやり取りをしたりすることができ、楽しく学びました。 ・様々な子どもたちへの様々なアプローチ法を学ぶことができ、大いに現場で生かすことができると思いました。 ・肯定的注目と否定的注目を使い分けることで、子どもの行動を変えることができると分かりました。
【第3回】	【実施日】	2月4日（火）、25日（火）
	【受講決定者数】	47名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレなどの詳しい内容を知ることができてよかったです。行動のとらえ方、障害によるとらえ方の違いなど、より深く理解することができました。 ・子どもの行動を思い返し、深掘りすることで自身の声かけやこうやって働きかけてみようなどの気づきが得られました。 ・ロールプレイをすることで、机上で学ぶよりも深く理解することができました。「ほめる」行動だけでも支援する側の個性で多くの違いがあるのだと学びました。 ・1日半の研修とは思えないほどのたくさんの学びや意見、探究心を得られる機会でした。これから実践していくことが楽しみです。